

うたしない

# 市議会だより

第59号

歌志内市議会  
議会報編集委員会

発行年月日 令和2年11月1日



行政常任委員会にて歌志内市消防本部を視察  
(土のう製作器による土のう製作を見学)

令和2年  
第3回定例会  
9月開催

9月8日から10日までの3日間の会期で定例会を開催しました。8日は2件の報告を受け、議案9件を審議し、令和元年度決算に係る2議案は、決算審査特別委員会（委員長本田加津子）に付託し、閉会中に継続して審査することになりました。

公平委員会委員の選任については原案に同意、歌志内市職員特殊勤務手当支給条例及び歌志内市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例は

## 〔定例会の開催〕

## 議会の動き

から5議案は、いずれも原案どおり可決しました。

一般質問は9日4名、10日1名が行い、その後意見書案5件を審議し、いずれも原案どおり可決し、閉会しました。

もくじ

- 議会の動き …… 1P
- 一般質問 …… 2～3P
- 行政常任委員会報告 …… 4P
- 可決された意見書 …… 4P





めぐ さとし

一 かもい岳スキー場・かもい岳温泉の運営進捗について

今年の12月から、1年間閉鎖されていた歌志内市のシンボル「かもい岳スキー場」が運営再開するとの話が進んでいると思いますが、新型コロナウイルスの感染拡大の状況で、当初の予定より大きく状況が変わったと思います。

契約は既に結ばれていると聞きますので、今年12月に向けた再開はどうなるのか、市民はもちろん、近隣市町の人達も大きな関心事になっていきますので、現在の進捗状況を含め確認したいと思えます。

質 今年4月から現在までの、かもい岳スキー場再開に向けた進捗状況を市として把握しているのか伺います。

答 M・かもい岳株式会社とは、4月1日付で土地の売買、賃貸借契約を締結しました。

スキー場ゲレンデは、北海道が所有する道有林が含まれており、同社と北海道との間で、6月23日付けで賃貸借契約が締結され、スキー場と温泉に係る譲渡手続きは、ほぼ



山川 裕正

一 防災体制について

質 平成28年8月の大雨では道の歌神橋で通行止めの際に遅れたため、神威方面に走行した車両が冠水した道路で走行不能となり廃車となりました。大雨特別警報等が出た場合は、急激に水位が上が

り道路が冠水することが想定されるので、早めの交通規制が必要と考えるが如何か。

答 道道は北海道で管轄しており、通行止めにする権限は北海道及び公安委員会に与えられています。北海道では上

歌の雨量計と市役所横の河川水位計等の状況を考慮し通行止めの判断をしています。最近の豪雨の予測は事前に判断することが難しいと伺っていますが、市民等の財産を守るため、早めの規制等対応できる

質 防災ハザードマップが全戸配布され、全市に土石災害警戒区域があることを再認識

しました。この防災ハザードマップを市民に理解していただくためには、連合町内会



下山 則義

一 新型コロナウイルス感染症等の対応について

質 新型コロナウイルス感染症の対策については、国の支援内容に乘じ、当市からも第1弾、2弾と市民や企業に対して支援があつたが、感染の終息が見えない今、支援を必要とする状況に感じ、さらに歌志内市独自で行う支援についての考えを伺います。

答 本市の新型コロナウイルス感染症の対策については、主に感染防止対策及び感染拡大の影響を受けている市内事業所や住民生活を支援するため、第1回臨時会以降、本定

例会での補正予算を含め、4度にわたり地域の実情に応じ、必要な事業が実施できるよう予算措置しています。

特に、第2回臨時会で予算措置した各事業は、制度内容総額とも積極果敢な予算としており、給付金や支援金の対象範囲、単価等は近隣市町の中でも最も手厚いレベルであると認識しています。

質 新型コロナウイルス感染症の終息が見えない状況で、

議等で説明する等の対応が必要と考えるが如何か。

答 災害に対する理解を深めるため、多くの方に説明し周知することが望ましいと考えますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、人が集まる機会が制限されていることから、今回は台風が発生しやすい時期を迎えるため、いち早く配布することを優先しました。今後ハザードマップの説明は、町内会からの要請に応じ、随時行って参ります。

質 市庁舎職員駐車場が河川情報基盤整備工事が施工されている。この工事は電気通信工事で説明が掲示されているが、今後の災害時にどのような情報が提供されるのか。

答 同箇所は簡易水位計がすでに設置、供用されていますが、現在行われている工事は、恒久的な水位観測局の設置工事、今後の水位観測データを、より安定して情報提供できるように、簡易版から恒久的な機器への移行をするための

工事です。今後は、これまで同様、時間時における水位並びにカメラによるリアルタイムの映像などが、インターネットにより情報提供されます。

# 一般質問

インフルエンザ（季節性）流行の冬を迎えると、インフルエンザワクチンの需要が高まり、希望者全ての接種量を例年の接種開始期日に確保するのは難しいとの内容を耳にする一方、当市の子育て支援・高齢者等の支援にインフルエンザ予防接種の無料化があるが、ワクチンの確保の状況について伺います。

**答** 任意接種の対象者拡大と定期接種の無料化により、接種希望者数は増加すると見込んでおり、ワクチンの確保について、過日、市内医療機関に確認したところ、今後、ワクチン確保に向け取り組みとすることであり、市としても需要増に対応できるよう、要請したところです。

## 二 義務教育学校開校について

**質** 義務教育学校開校のため歌志内中学校の改修工事が行われていますが、行政常任委員会に提出された資料の工程表に遅れはないのか伺います。  
**答** 予定どおり進捗しているところであり、一部では、前倒しを行い、工事を進めているところもあり、全体を通じて順調に進んでいます。



能登 直樹

## 一 「新しい生活様式」に向けた諸施策について

**質** 「新しい生活様式」に対応するためにも、公共施設など人が集まる空間での「密」を可視化するためのオンライン情報やアプリ等を活用したシステムの確立が必要と考えるが、今後のデジタル化対策への取り組みについて伺う。

**答** 公共施設の利用状況の可視化は、独自化によるものになるが、他の自治体では、リアルタイムでHP等に表示したり、施設の利用予約状況を示しているところなど様々。

本市の場合は、多くの人が集まる行事等は限定されているので、今のところシステムの導入は考えていません。

費用対効果や必要性を含め、他市町村の取り組み等も参考に、市独自のアプリ作成等も含め、今後検討していかねればと思っています。

**質** デジタルフォーマーショー等によって地域の価値を高めていくことにより、定住・移住や企業誘致を促進すると思う。空き家を利用したワー

キングスペースや住宅の整備等の仕組み作りを推進し、誰もが住み続けられる街づくりを今後もすべきたと考えるが。

**答** デジタルフォーマーショー等により地域の価値を高めることは、定住・移住や企業誘致を進めていく上で重要。空き家を利用したワーキングスペースや住宅の整備については、空き家バンクによる戸建て住宅の登録や活用予定のない市有財産である建物の売却を継続実施していきます。

地方行政のデジタル化は住民が迅速かつ正確で、効率的な行政サービスを受容するために不可欠な手段であると認識しているため、国の動きを注視しながら、本市のデジタル化を推進していきます。

## 二 乳幼児検診における小児がんの早期発見について

**質** 小児がんの早期発見に対してどのような取り組みをされているのか。

**答** 全児対象としている新生児訪問・乳幼児相談・幼児健診などの機会に、小児がんを含む乳幼児期にかかりやすい疾病に注視して観察しており、疾病が疑われる場合は医療機関を紹介しています。



本田 加津子

## 一 災害から住民を守る取組みにについて

**質** 自主防災組織体制の整備状況について、中心となる人材を確保するために、町内会連合会や各町内会・自治会と協議されていると思うが、進捗状況を伺います。

**答** 災害時においては「公助」だけでは限界があり、「自助」とともに地域の中で互いに協力し合う「共助」が重要となります。そのため、市では地域における自主防災組織体制や、中心となる人材育成について推進しているところです。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により地域防災マスターの認定研修会も中止や規模縮小により、思うように入っていないのが現状です。

しかし、町内会の中には、災害時の要配慮者に対する見守り体制を強化しようとするところがあるなど、少しずつではありますが、地域の中で防災に理解のある人材を中心

に「共助」による防災への取組みが進んできていますので、今後必要とする支援を行って参りたいと考えております。

**質** 8月30日に焼山線が土砂崩れの恐れのため通行止めになったが、その際、有線放送施設が活用されたのか伺います。

**答** 道路の通行止め措置については、北海道からの情報を、建設課、消防本部、総務課で情報共有しながら周知することとしており、今回の通行止めについても消防の有線放送を活用して周知しました。

**質** 防災行政無線の整備と全世帯への戸別受信機設置についての考えを伺います。

**答** 本市においては、過去から地形的な問題や費用的な問題により、防災行政無線や戸別受信機については整備を予定がなく、消防の有線放送を中心に、広報車両やホームページ、フェイスブック、登録制メール、今年度からサービスを開始した避難情報音声配信サービスなど、様々な手段を組み合わせて情報を伝達することとしていますので、現在のところ、この考え方に変更はありません。

## 行政常任委員会報告

委員長 谷 秀紀

▽7月30日

- ・令和元年度病院事業会計決算状況（見込み）について
- ・義務教育学校開設に向けた取り組み状況について
- ・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた今後の学校教育活動等について
- ・令和2年度建設事業の工程について
- ・住宅改修促進助成事業の状況について
- ・歌志内市公営住宅等長寿命化計画の進捗状況について
- ・令和元年度決算状況（見込み）について

▽8月31日

- ・中小企業休業要請等支援金交付事業の状況について
- ・地域商品券発行事業の状況について
- ・ワイン用ぶどう試験栽培事業の取り組み状況について（現地視察含む）
- ・消防車両及び消防資機材の状況について（現地視察含む）
- ・火災の発生状況について
- ・救急出動の状況について
- ・災害弱者緊急通報システム



行政常任委員会にてワイン用ぶどう試験栽培地を視察

- ・の受信・処理状況について
- ・新型コロナウイルス感染症対策の取り組み状況について（保健福祉課所管に関する事項）
- ・特別定額給付金事業の状況について
- ・子育て世帯臨時特別給付金事業の状況について

## 一部事務組合等議会

▽8月24日

空知中部広域連合議会第2回定例会

川野議長  
谷 議員



行政常任委員会にて歌志内市消防本部を視察  
(エアータント設置を見学)

## 可決された意見書

- 防災・減災・国土強靱化対策の継続・拡充を求める意見書
- ドクターヘリの安定・持続的運用への支援強化を求める意見書
- 地方自治体のデジタル化の着実な推進を求める意見書
- 「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、教職員の超勤・多忙化解消・「30人以下学級」の実現に向けた意見書
- 新型コロナウイルス感染症対策の強化等を求める意見書

※これら5件の意見書は9月10日に議決し、内閣総理大臣、各関係大臣、衆・参議院議長へ送付しました。

## 編集後記

木々の葉も落ち始め、冬の装いになりつつあり、体調管理に気を付けなくてはならない時期になっています。

今年はコロナウイルスとインフルエンザの両方に気を付けなければならない事態になっています。

皆さんにおかれては、くれぐれも体調に御留意して頂きたいと思えます。

編集長 めが